

バス事業のキャッシュレス決済機器の更新で「全国共通 IC カード」が使えない市の財政支援で、現行制度を守るべきではないでしょうか

交通事業キャッシュレス機器更新への助成では、「全国共通 IC カード」が使えなくなる機器への更新予算が提案されました。都市整備委員会で発言するとともに、予算決算委員会・締めくくり質疑でも取り上げました。

クレジット決済はまだ普及の途上、利便性が損なわれる

バス事業者のキャッシュレス決済機器更新への助成では、バス事業者の経営状況等を理由に、現在使用している全国共通 IC カードが使えない機器への更新が提案されました。

市が代替案で提案している

クレジット決済は、全国に2,000以上ある乗合バス事業者の内利用できるのは30都道府県110事業者、わずか5%程度でしか利用できません。普及途上の制度です。これでは、利用者の利便が損なわれます。

「市役所建替え」の1%程度で、現行制度が継続できる

現行制度を後退させないためには12億1,000万円が必要です。今回の予算提案にある額を「市」と「事業者」で負担するならば、残りは8億5,000万円です。市役所建替えの1%程度の予算で実施できます。

日本共産党市議団は、公共交通の利用促進と、利用者の利便性確保のため、市が財政負担をしても現状制度を後退しないよう求めました。



【6月議会の主な議案の賛否】

○：賛成 ×：反対

| (内容) | 共産 | 自民 | 熊本自民 | 市民連合 | 公明 | 参政 | 維新 | 筑紫 | 山中 | 瀬尾 |
|--------------------------------------|----|----|------|------|----|----|----|----|----|----|
| 2024年度一般会計補正予算 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 地域経済牽引事業促進による地域発展基盤強化法に基づく準則を定める条例改正 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現行健康保険証の存続を求める意見書提出の請願 | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × |
| 企業・団体献金全面禁止の法整備を求める意見書 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × |

*市議会最終日は、一般会計補正予算の問題点を指摘し反対討論を行うとともに、日本共産党市議団が提案した「企業・団体献金の全面禁止の法整備を求める意見書」案への賛同を求めて、賛成討論を行いました。

「地下水涵養」に逆行する開発促進の条例改正「地域経済牽引事業促進による地域発展基盤強化法に基づく準則を定める条例」には賛成できません

「経済牽引事業促進による地域発展基盤強化法に基づく準則を定める条例」の改正では、現行の工場立地特例対象区域をさらに広げ、追加指定するための条例改正です。新規に追加されるのは、改寄町が1カ所・16名、戸島町が2カ所・29名の合計45名です。白川中流域におけるTSMC進出に伴う開発に加え、さらに開発を促進するもので、地下水涵養への影響も懸念されるため、条例案に反対しました。

日本共産党
熊本市議会だより

NO. 1374
2024年7月7日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：共産党熊本市議団

検索



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

市庁舎
建替え天井知らずの総事業費「629億円+α」
事業費も示さず、建替えを強行していいのでしょうか

700億円超のハコモノの「総事業費」、決まるのは3年先

「総事業費 629 億円 + α」と異例の形で、事業費が示されています。庁舎特別委員会では、「基本設計が終われば示せる」と答弁されましたが、基本設計が終わるのは3年近く先です。

来年3月には、実施設計の契約を目指しており、今のままでは市政史上最大のハコモノの事業費を白紙委任することになります。こんな無謀な事業提案は容認できません。

「+α」は説明できない・・・事業費は青天井

事業費は次々と増えてきました(右表参照)。今回の事業費「+α」について、特別委員会での説明はなく、今後さらに増えることは間違いありません。

| |
|---|
| R2年基本構想時点：移転建替 390 億円 |
| R6年5月30日特別委員会 ：建設費 470 億円 |
| R6年6月24日特別委員会 ：総事業 629 億円 + α (建設費 529 億円) |

さらに増えたフロア面積 6万 7220 m²と事業費

延床面積は、現在の 48,000 m² が 67,220 m² へと 1.4 倍に増えます。5月までの 6万 m² からさらに増えました。

熊本城の景観が懸念されることから、区役所を別地に整備する案が提案され、本庁のみならば高さ 55m との説明です。

【建物概要】

延床面積：67,220 m²(20,334 坪)
階数：地上 11 階、地下 1 階
建物高さ：(合築) 67.6m
(本庁舎のみ) 55m
駐車台数：敷地内・152 台
(辛島地下駐・188 台)
駐輪台数：704 台
(自転車・354 台、原付 350 台)

借金返済は孫子の代まで、完了は今から 30 年先

市が提出している資料では、借入れる市債は 565 億円、それに対し、返済する借金は元利併せて 642 億円です。下表のように、27 年間にわたり返済を続け、計画通りに進んでも返済終了は約 30 年後の 2053 年です。

年間の最高返済額 37 億円、20 億円以上の借金返済となる年度が 17 年間続きます。市政史上最大のハコモノ・市役所建替えは孫子の代までの借金返済です。耐用年数を 30 年残しての建替えには納得できません。

【市役所建設にかかる年度別市債返還額】 上段：年、下段：返済額(億円)

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 2027 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 1 | 2 | 5 | 9 | 13 | 19 | 25 | 31 | 34 | 36 | 37 | 37 | 37 | 36 |
| 2041 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |
| 36 | 35 | 35 | 35 | 34 | 33 | 28 | 28 | 22 | 16 | 10 | 5 | 3 | 0 |

異常に高い現庁舎の解体費 90 億円、解体期間 2 年

現庁舎解体費 90 億円は、業者の間で、異常に高いと指摘されています。地下には直径 2m の場所打ちコンクリート杭が 159 本あり、その周りを厚さ 60 cm・耐震性ある鉄筋コンクリートの地中連続壁が深さ 19m まで設置されています。

これが高い解体費の理由ならば、壊さず使うべきです。

【概算事業費】 区役所・市営駐車場案

| | |
|-------------|----------|
| NTT 桜町用地費 | 83.5 億円 |
| 市営駐車場用地費 | 16.2 億円 |
| 設計費 | 20 億円 |
| 庁舎建設費(区役所込) | 418 億円 |
| その他の費用 | 1.5 億円 |
| 現庁舎解体費 | 90 億円 |
| 合計 | 629.2 億円 |